

個人投資家様向けセミナー

2025年12月11日



東部ネットワーク株式会社 代表取締役社長 若山良孝





1	会社紹介と事業内容	3~4p
2-1	貨物自動車事業	5~6p
2-2	不動産賃貸事業	7p
2-3	その他事業	8p
3	今までの歩みと将来に向けて	9~12p
4	将来にむけて	13~21p
5	中期経営計画と長期ビジョンについて	22~24p



1 会社紹介と事業内容

会社概要

所在地	横浜市神奈川区栄町2-9 東部ヨコハマビル7階 電話045-461-1651（代表） FAX045-453-3996
創立年月日	1943年（昭和18年）12月30日 創立81年
資本金	5億5,303万1,250円
拠点	秋田・仙台・郡山・新潟・富山・北陸・高崎・ 習志野・横浜・鶴見・海老名・静岡・大井川・ 四日市・滋賀・堺・尼崎・神戸・姫路・播磨・ 倉敷・広島・新居浜
従業員数	連結：419名（2025年3月末現在）
子会社	株式会社東北三光 魚津運輸株式会社 テーエス運輸株式会社
1999年 東京証券取引所スタンダード上場（9036）	





1 会社紹介と事業内容

東部ネットワークの事業のご紹介

1 貨物自動車事業 (物流事業)



2 不動産賃貸事業



3 その他事業



売上高 比率

2 3

1 物流事業
90%



2－1 貨物自動車事業の種類

① 物流事業

自社大型
トラック輸送

A



3PL物流
総合サービス

B



貨物保管管理　入出荷管理　輸送サービス

求貨求車
サービス

C



お客様のニーズに合わせたトラックと荷物のマッチングサービス

② 不動産賃貸事業

③ その他事業



2 – 1 貨物自動車事業について 各種物流事業拠点

1 物流事業

A

自社大型



B

3PL事業



C

求貨求車
サービス



主な協力会社（取引金額上位 50社）

輸送 3PL 求貨求車
(グループ会社含めて)

29 拠点



2－2 不動産賃貸事業について

2

不動産資産の有効活用

以前は物流施設用として使用していた土地を活用して
様々な施設としてあらたな運用

介護付き有料老人ホーム



ドラッグストア



ガソリンスタンド



コンビニエンスストア





2 – 3 その他の事業について

3

自動車整備事業

自社車両整備ならびに一般顧客車両整備

鶴見整備工場



鶴見整備工場



高い整備技術により国内トラックメーカーの新車整備

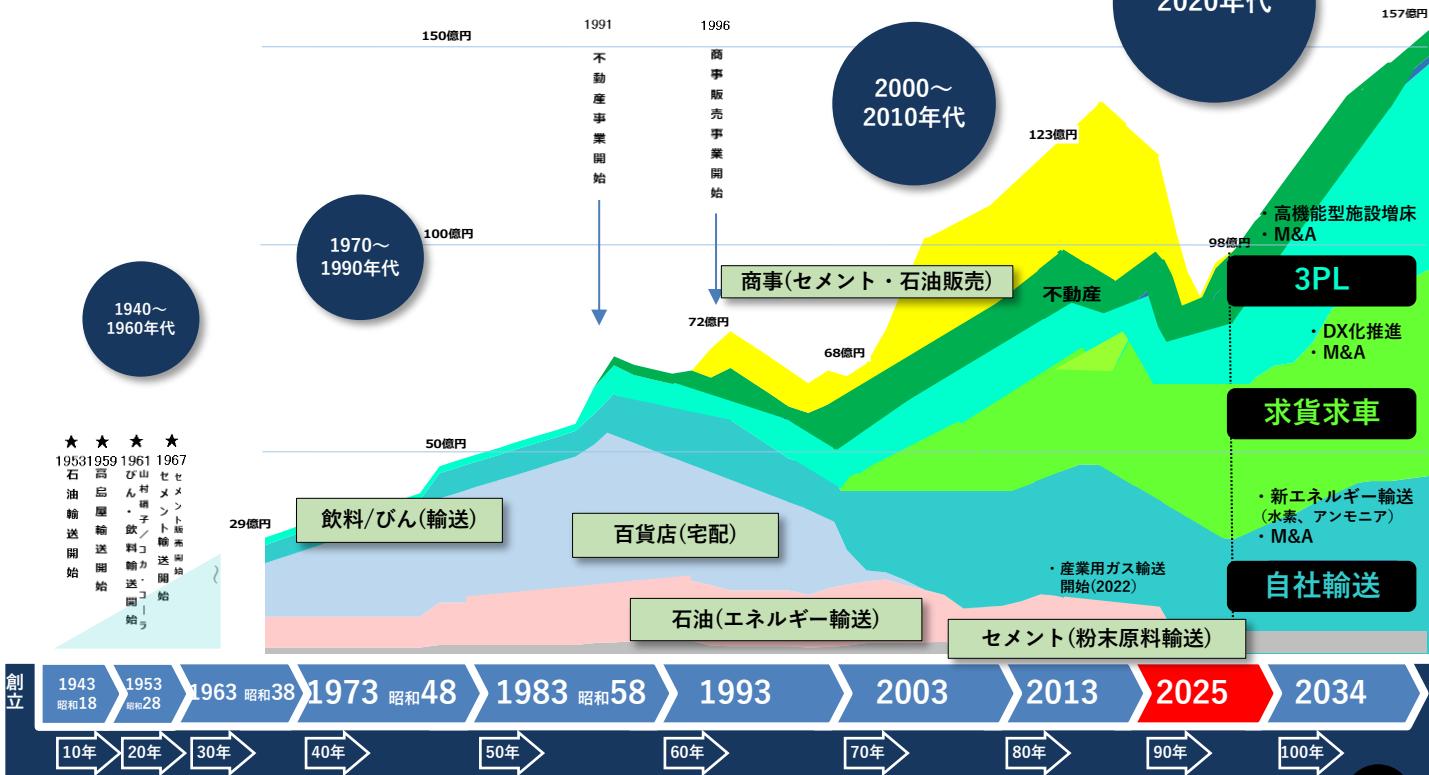
運輸局認定民間車検場



3

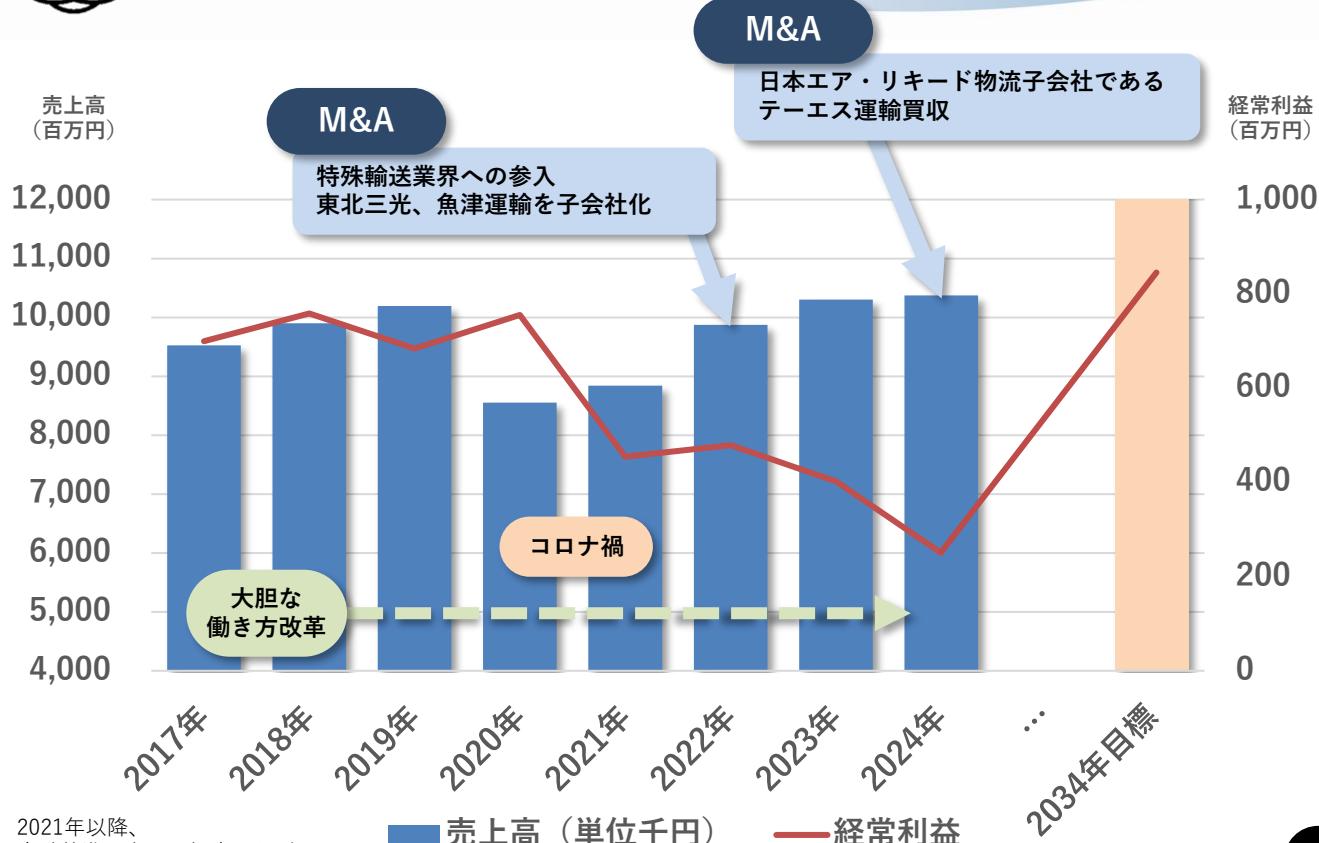
今までの歩みと将来に向けて 領域別 売上推移

昭和18年創立
80周年





今までの歩みと将来に向けて 過去の業績





今までの歩みと将来に向けて 物流業界が抱えている問題と取り組み

問題

人手不足

物流コストの高騰

燃料 人件費
車両価格 建築コスト

運賃と物流コストの乖離

当社のとりくみ

働き方改革の推進(2024年問題)

週休二日制の導入、賃上げの実施

譲渡制限付株式報酬制度による

従業員のモチベーション向上

外国人技能研修生の導入

持続可能なビジネスモデルの構築

荷主との建設的な協議推進

適正運賃への転換 荷主側の物流危機感

物流会社が荷主を選択する時代へ



今までの歩みと将来に向けて 3 M&Aによる新たな物流業種への参画を開始

コロナ禍

2024年問題

積 M
極 &
的 A
な 投
企 資
業 に
成 よ
る



東北三光 2022.4

秋田港でセメント保管と入出荷（セメント施設の3PLに参画）



魚津運輸 2022.10

産業用ガス（水素輸送）新たな輸送品目に進出



テーエス運輸 2024.4

日本エア・リキード物流子会社を買収し、
産業用ガス輸送を一気に拡大



4 将来に向けて 日本エア・リキードについて

日本の三大産業用ガスメーカー

日本エア・リキード社

大陽日酸社
旧日本酸素

エア・ウォーター社

100%
物流子会社

テーエス運輸

株式会社を買収

東部ネットワークグループは、日本エア・リキード社における
国内輸送の約25%を担います。

産業用ガスを輸送している

独立系上場企業は我が社1社です





4 将来に向けて

買収によるあらたな物流事業への参入による今後の展望

産業用ガスマーケット需要は安定している

酸素

鉄鋼系製造業
医療現場で

安定
需要

窒素

半導体製造で
需要増

水素

次世代
エネルギー
として

その他 産業用ガス

様々な
製造現場で

安定
需要

われわれは
化石エネルギーから産業用ガス輸送を通じて、
次世代エネルギーの物流に参入しました



4 将来に向けて 成長戦略





4

将来に向けて 成長戦略

半導体の製造には
産業用ガスの供給が必要不可欠



ガス供給タンク



4

将来に向けて 成長戦略



東部熊本ガス物流センター

2025年11月18日 地鎮祭

2026年12月 竣工予定





4

将来に向けて 成長戦略





4 将来に向けて 成長戦略





4 将来に向けて 成長戦略



©2024 Air Liquide Japan



4

将来に向けて 産業用ガス輸送への挑戦 新たにプロフェッショナルスキルへの投資

将来に向けて
人的投資

専門的なスキルアップのプログラム 新たなスキルの乗務員の育成（人材育成投資）

高圧ガス移動監視者資格、毒物劇物取扱者資格

- ガス取扱トレーニング（3か月）
- 様々な現場設備への対応実務（6か月）



プログラム
約一年

これらの差別化要因により、当社は
一般貨物に加え特殊輸送へ業務領域の拡大に挑みます



5 中期経営計画と長期ビジョンについて

活動報告

ACTIVITIES DESCRIPTION

第1次中期 経営計画と長期ビジョン

成長分野への投資と付加価値の高い物流サービスの提供により
「資本コスト」「PBR」「資産効率」を意識した経営を継続します。

2033年度

売上150億円

ROE8%

EBITDAマージン10%

配当性向30%

2026年度

売上115億円

営業利益
5億5000万円

2025年度

売上112億円

営業利益
4億5000万円

2024年度

売上110億円

営業利益
3億9000万円

2024年5月

ファーストステージである中期経営計画を発表



5 中期経営計画と長期ビジョンについて 中期経営計画より

	2024年度 実 績	2025年度	2026年度	
			(ご参考) 2Q期実績	
売上高	103億円	112億円	51億円	115億円
営業利益	1.8億円	4.5億円	1.8億円	5.5億円
EBITDA	9.2億円			
ROE		2034年 8 %へ向けて		



5

中期経営計画と長期ビジョンについて 株主還元について



業績に連動して皆様のご期待に応えたい

株主還元の一層の充実を図るべく、今年度 約10万株の自己株取得を実行いたしました。

株主優待、増配についても積極的に検討していきたいと考えております。



注 本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略、数値などは、当社が現時点で入手可能な情報を元に作成した見通しであり、これらの将来予測についてはリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績等については、記載の見通しと異なることがあります。このため、当社としてその確実性を保証するものではありません。

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします

<お問合せ先>

東部ネットワーク株式会社

広報・IR担当 代表取締役専務 三澤 秀幸

TEL : 045-461-1651

<https://www.tohbu.co.jp/>

撮影協力：日本エア・リキード